

令和元年第3回足立区議会定例会提出案件（追加）

令和元年10月18日現在

議案 番号	整理 番号	案 件 名	備 考
	1	訴えの提起について	建物明渡しに係る訴訟の提起
	報告 1	専決処分した事件の報告について	訴えの提起 1, 467, 520円 3件
	報告 2	専決処分した事件の報告について	和解 130, 000円 1件

議員提出第11号議案

高齢者の安全運転支援と地域における移動手段の確保を求める意見書

上記の議案を別紙のとおり、会議規則第13条第1項の規定により提出する。

令和元年	月	日	提出者		
			足立区議会議員	吉岡	茂
			同	岡安	たかし
			同	かねだ	正
			同	ぬかが	和子
			同	鈴木	あきら
			同	渡辺	ひであき
			同	小泉	ひろし
			同	たがた	直昭
			同	はたの	昭彦
			同	ただ	太郎
			同	吉田	こうじ
			同	土屋	のりこ

足立区議会議長 鹿浜 昭 様

(提案理由)

政府に対し、高齢運転者の安全運転支援と地域における移動手段の確保を進める必要があるため、本案を提出する。

高齢者の安全運転支援と地域における移動手段の確保を求める意見書 (案)

豊島区池袋で今年4月に87歳の高齢者が運転する車が暴走し、母子2人が亡くなった事故以降も高齢運転者による事故が続いている。

近年、交通事故の発生件数は減少傾向にあるが、75歳以上の高齢運転者による死亡事故の割合は高まっており、ブレーキとアクセルの踏み間違いなど単純ミスによる事故も目立つ。

警察庁は、昨年末時点で約563万人いる75歳以上の運転免許保有者が、2022年には100万人増えて663万人に膨らむと推計している。

こうした状況を踏まえ、国は2017年施行の改正道路交通法で、75歳以上の免許保有者は一定の違反行為をした時や免許更新時に認知機能検査を受けることを義務付けたが、いまや高齢運転者の安全対策及び安全運転支援の取り組みは待ったなしの課題である。

また、交通空白地域を中心に、未だ「生活の足」として車が欠かせない高齢者も多い中、自主的に免許を返納した場合などの地域における移動手段の確保も取り組むべき重要な課題である。

よって、足立区議会は政府に対し、地方自治体や民間事業者とも連携しながら、総合的な事故防止策としての高齢運転者の安全運転支援と地域における移動手段の確保を進めるため、下記事項について早急に取り組むことを強く求めるものである。

記

- 1 自動ブレーキやペダル踏み間違い時の急加速を防ぐ機能など、ドライバーの安全運転を支援する装置を搭載した「安全運転サポート車」(サポカーS)や後付けの「ペダル踏み間違い時加速抑制装置」の普及を一層加速させるとともに、高齢者を対象とした購入支援策を検討すること。

- 2 高齢運転者による交通事故を減らすため、「安全運転サポート車」(サポカーS)に限定した運転免許制度を創設すること。
- 3 高齢者が日々の買い物や通院などに困らないよう、コミュニティバスやデマンド型乗合タクシーの導入など「地域公共交通ネットワーク」のさらなる充実を図ること。また、運転免許証を自主返納した高齢者に、地方自治体などが行うタクシーや公共交通機関の割引制度などを支援すること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

令和 年 月 日

議 長 名

衆議院議長

参議院議長

内閣総理大臣

総務大臣

あ て

経済産業大臣

国土交通大臣

国家公安委員会委員長

議員提出第12号議案

生態系への影響が深刻化するプラスチックごみ対策の強化を
求める意見書

上記の議案を別紙のとおり、会議規則第13条第1項の規定により提出する。

令和元年

月 日

提出者

足立区議会議員	岡	安	たかし
同	吉	岡	茂
同	かね	だ	正
同	ぬか	が	和子
同	鈴木		あきら
同	渡辺		ひであき
同	小泉		ひろし
同	たが	た	直昭
同	はた	の	昭彦
同	ただ		太郎
同	吉	田	こうじ
同	土	屋	のりこ

足立区議会議長 鹿浜 昭 様

(提案理由)

国会及び政府に対し、プラスチックごみ対策の強化を求めるため、本案を提出する。

生態系への影響が深刻化するプラスチックごみ対策の強化を求める意見書（案）

プラスチックごみによる海洋汚染が年々深刻化していることに伴い、欧州各国を中心に使い捨てプラスチック製品の規制に向けた動きが強まる中、今年6月のG20大阪サミットで採択された「大阪首脳宣言」では、2050年までに海洋プラスチックごみによる新たな汚染をゼロにすることを目指す「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」の共有が盛り込まれた。

国連環境計画（UNEP）の推計によれば、プラスチックごみの廃棄量は年間3億トンに及ぶとされ、そのうち800万トンが海に流入しているといわれる。このまま推移すれば、2050年にはプラスチックごみの廃棄量は現在の約4倍に増大し、海洋プラスチックごみの総重量が海にいる魚の総重量を上回るというショッキングな推計も示されている。海に流出して5ミリ以下になったマイクロプラスチックは海洋生物に深刻な被害をもたらすだけでなく、人体への影響も懸念されている。

日本のプラスチック生産量は世界第3位で、さらに1人当たりの使い捨てプラスチックごみの廃棄量は世界第2位の多さであり、この問題に国際的な責任を果たすべき立場にあるが、その対策は立ち遅れている。回収した年間150万トンのプラスチックごみを「資源」という位置づけでアジア諸国に輸出して処理を委ねてきたが、中国が輸入規制を始めたことや、バーゼル条約が改定されたことで、汚れたプラスチックごみについて相手国の同意のない輸出が禁じられることになったため、これまでの処理対策を根本から見直さざるを得なくなっている。

国際社会では、増え続けるプラスチックごみ問題への対策として、使い捨てプラスチック製品の製造・流通・販売の規制に踏み込み、生産・使用そのものを削減する流れが広がっている。しかし日本では、規制は設けられておらず、削減の取り組みは企業の自主努力任せとなっている。

日本がプラスチックごみの排出量を減らしていくためには、廃棄・リサイクル段階のみならず、製造・流通・販売の各段階においても実効性ある施策を進めるための法整備が一刻も早く求められている。

よって、足立区議会は国会及び政府に対し、プラスチックごみ対策を強化するため、下記事項の実現を強く求めるものである。

記

- 1 プラスチックごみについては、国内での回収・処理を最優先とするほか、海へ流出するごみの量を極力抑えるため、日本が国際連携の枠組みの構築や、アジア諸国への技術支援・協力に対して主体的・先導的役割を果たしていくこと。さらに、プラスチック資源として再利用することを基本とした処理システムを一刻も早く構築すること。
- 2 使い捨てプラスチック製品の製造・流通・販売の各段階においても、削減の取り組みを企業・業界の自主努力任せとせず、国として新たに削減に向けた法制度の検討を図ること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

令和 年 月 日

議 長 名

衆議院議長

参議院議長

内閣総理大臣 あ て

環境大臣

- | | | |
|-----|---------|--|
| 第1 | 第69号議案 | 平成30年度足立区一般会計歳入歳出決算 |
| 第2 | 第70号議案 | 平成30年度足立区国民健康保険特別会計歳入歳出決算 |
| 第3 | 第71号議案 | 平成30年度足立区介護保険特別会計歳入歳出決算 |
| 第4 | 第72号議案 | 平成30年度足立区後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算 |
| 第5 | 第75号議案 | 選挙長等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 |
| 第6 | 第90号議案 | 足立区会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例 |
| 第7 | 第91号議案 | 足立区人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例 |
| 第8 | 第92号議案 | 足立区職員の分限に関する条例の一部を改正する条例 |
| 第9 | 第93号議案 | 足立区職員の懲戒に関する条例の一部を改正する条例 |
| 第10 | 第94号議案 | 足立区職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例 |
| 第11 | 第95号議案 | 公益的法人等への足立区職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例 |
| 第12 | 第96号議案 | 外国の地方公共団体の機関等に派遣される職員の処遇等に関する条例の一部を改正する条例 |
| 第13 | 第97号議案 | 足立区職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例 |
| 第14 | 第98号議案 | 足立区非常勤職員の報酬および費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 |
| 第15 | 第99号議案 | 足立区職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 |
| 第16 | 第100号議案 | 足立区職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例 |
| 第17 | 第101号議案 | 足立区幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 |
| 第18 | 第76号議案 | 足立区印鑑条例の一部を改正する条例 |
| 第19 | 第77号議案 | 足立区地域体育館条例の一部を改正する条例 |
| 第20 | 第78号議案 | 足立区営運動場条例の一部を改正する条例 |
| 第21 | 第79号議案 | 足立区温水プール条例の一部を改正する条例 |
| 第22 | 第80号議案 | 足立区東綾瀬公園温水プール条例の一部を改正する条例 |
| 第23 | 第105号議案 | 足立区生涯学習センター条例の一部を改正する条例 |
| 第24 | 第106号議案 | 足立区地域学習センター条例の一部を改正する条例 |
| 第25 | 第107号議案 | 足立区立図書館条例の一部を改正する条例 |
| 第26 | 第81号議案 | 足立区自転車の安全利用に関する条例 |
| 第27 | 第85号議案 | 足立区に係る防災街区整備地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例 |
| 第28 | 第86号議案 | 足立区総合交通計画改定協議会設置条例を廃止する条例 |
| 第29 | 第87号議案 | 特別区道路線の認定について |
| 第30 | 第88号議案 | 特別区道路線の廃止について |
| 第31 | 第82号議案 | 足立区神明三丁目地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例 |
| 第32 | 第83号議案 | 足立区高野地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例 |
| 第33 | 第84号議案 | 足立区花畑北部地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例 |
| 第34 | 第89号議案 | 足立区家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 |
| 第35 | 第110号議案 | 訴えの提起について |

- 第36 受理番号11 権利擁護支援の地域連携ネットワークへの行政書士の参画を求める陳情
- 第37 受理番号2 高すぎる国民健康保険料をこれ以上値上げせずに低所得者・子育て世帯の負担軽減を図るため1兆円の公費投入を求める意見書の提出を求める陳情
- 受理番号3 命を守る熱中症対策の強化を求める陳情
- 受理番号4 中途難聴者に対する補聴器購入費助成を求める陳情
- 受理番号5 介護保険の負担軽減を求める陳情
- 受理番号6 不登校の子ども達や発達障がい特性のある子ども達とその保護者に対する適切な支援等の創設を求める請願
- 受理番号7 子どもを産み育てやすい新たな制度を求める請願
- 受理番号8 日本政府に核兵器禁止条約の調印を求める意見書の提出を求める請願
- 受理番号9 選択的夫婦別姓制度の法制化に賛成する意見書の提出に関する陳情
- 受理番号10 国民健康保険料が上がらないようにするとともに、都や国にその財政措置を求める意見書の提出を求める陳情
- 受理番号12 全てのがん検診無料化及び女性のがん検診毎年実施を求める陳情
- 受理番号13 児童・生徒の介助員登録者を増やす工夫・改善及び行事介助員を探す際の保護者の負担軽減を求める請願
- 受理番号14 待機児童の解消とより良い保育の質の向上を求める陳情
- 受理番号15 医療的ケア児や重症心身障害児とその家族に対する日常生活支援サービスの向上を求める陳情
- 受理番号16 花畑川環境整備の早期整備を求める陳情
- 受理番号17 花畑運河の歴史文化的価値の保存を求める陳情
- 受理番号18 小学校の図書館に直接雇用の図書館司書の配置を求める陳情
- 受理番号19 新田地区の学校計画見直しを求める陳情
- 受理番号20 小中一貫校新田学園の教育環境改善のために学校用地拡張を求める陳情
- 受理番号21 健常児と障がい児が関わる時間を増やすインクルーシブ教育の拡大と医療的ケア児や重症心身障害児を受け入れる保育制度を求める陳情
- 受理番号22 放射能汚染から子どもの健康を守るための放射線測定を求める陳情
- 受理番号23 原子力発電所からの放射能汚染等の緊急時に対応できる医療体制作りと安定ヨウ素剤の備蓄を求める陳情
- 受理番号24 医療的ケア児や重症心身障害児の災害対策に関する陳情
- 第38 受理番号25 原子力発電所の被災、事故に対応する「地域防災計画」の早急な具体化を求める陳情
- 受理番号26 綾瀬地区を文化的に環境整備することを求める陳情
- 受理番号27 西新井駅及び周辺の改善を求める陳情
- 第39 議員提出第11号議案 高齢者の安全運転支援と地域における移動手手段の確保を求める意見書
- 第40 議員提出第12号議案 生態系への影響が深刻化するプラスチックごみ対策の強化を求める意見書

令和元年10月21日

足立区議会議長

鹿 浜 昭

令和元年第3回足立区議会定例会 文書質問提出者等一覧表

提出日	会派名	提出者名	質問内容
10月 1日	立憲民主党	鈴木 あきら	① 都立中川公園防災拠点・防災公園化について ② 江北給水所上部利用について

※文書質問書提出期間

9月26日(木)～10月16日(水)

令和元年11月足立区議会会議日程 [閉会中委員会] (案)

足立区議会事務局

月	日	曜	午前	午後
11	7	木	議会運営委員会(第2委員会室) 10時 各派幹事長会・広報委員会(第2委員会室) 10時30分	
	8	金	災害・オウム対策調査特別委員会(第3委員会室) 10時	
	9	土		
	10	日		
	11	月	総務委員会(第3委員会室) 10時	
	12	火	区民委員会(第3委員会室) 10時	産業環境委員会(第1委員会室) 1時30分
	13	水	厚生委員会(第3委員会室) 10時	
	14	木	建設委員会(第3委員会室) 10時	文教委員会(第3委員会室) 1時30分
	15	金	交通網・都市基盤整備調査特別委員会(第3委員会室) 10時	待機児童・子ども支援対策調査特別委員会(第3委員会室) 1時30分
	16	土		
	17	日		
	18	月	災害・オウム対策調査特別委員会(第3委員会室) 10時	
	19	火	エリアデザイン調査特別委員会(第3委員会室) 10時	

※ 委員会室は変更する場合がある。

◎ 令和元年第4回足立区議会定例会日程 (案)

12月2日(月) ~ 12月20日(金) (19日間)